

Think of Next

CSR報告書

Vol.9 2021

トピックス

NEXT 17 Targets

CSR7つの中核課題

特集

COOLプロジェクトスタート



工事中の株式会社中特ホールディングスの本社屋の玄関にて撮影

企業理念

使命

「私たちは生活環境革命で人々を幸せにします」

基本姿勢

1. 私たちは、私たちを取り巻く全ての人々に誠実に接します
2. 私たちは、時代の風向きに敏感に反応し、いかなる時代が来ようとも存続します
3. 私たちは、共に地球に暮らす一員として、社会のために役立つ存在となります

行動指針

1. 明るく元気に
2. 迅速丁寧
3. 目配り気配り思いやり
4. ピンチはチャンスプラス思考

目指すポジションNo.1

- 社員の幸せNo.1
- お客様の満足No.1
- 社会に貢献No.1
- 未来の創造No.1

ISO26000 7つの中核課題



目次

特集COOLプロジェクトスタート…	3	8
トピックス…	9	12
NEXT 17 Targets…	13	16
環境のために…	17	18
地域社会とともに…	19	20
お客様とともに…	21	22
社員とともに…	23	24
事故災害ゼロをめざして…	25	28
第三者意見…	29	29
公正な事業と組織運営のために…	30	30
組織統治 公正な事業慣行		
労働慣行・人権		
公正な事業慣行		
消費者課題		
コミュニティへの参画 およびコミュニティの発展		
環境		

編集方針

中特グループのCSR / CSVの取り組み事業その他の活動をステークホルダーの皆様へご報告する様に編集しています。ホームページ等でも開示していますのであわせてご覧ください。作成にあたっては環境報告ガイドライン、ISO26000、及び国連持続可能な開発目標（SDGs）を参考にしました。

対象期間 2020年10月～2021年9月（一部対象期間外）

■中特グループ スローガン&ロゴマーク■

まちと未来をキレイにする仕事。



■グループ各社スローガン■

<中国特殊株式会社><株式会社藤井興業>

水まわりで、地域まわり。

<株式会社吉本興業>

スマイルアップ、クリーンアップ。

<株式会社リライフ>

捨てられたモノに、いのちを。

<株式会社ポータルハートサービス>

思い出も整理する。

COORプロジェクトスタート



【出席者（座談会メンバー）】

白井 紀行：sofa inc. 代表 プロデュース

繁永 政志：繁永政志都市建築計画事務所 代表 一級建築士

橋本季和子：橋本季和子建築照明設計事務所 代表

橋本ふくみ：中特グループ CEO

【司会進行】

吉本 妙子：中特グループ 企画広報室室長

今なぜCOOR

プロジェクトを？

吉本…2021年12月に中特ホールディングスの本社屋が完成しますが、このタイミングで建てようと思ったのは何故ですか？

橋本ふ…シンプルに今いるところが手狭になったからです。ただ、せっかく建てるのであれば、普通の社屋を建てるのではもったいなと思う、何か付加価値がある物にしたいと感じていました。本社屋というのは一般的に「利益を生まない場所」と言われています。ならば、ただの社屋にせずに「イノベーションを起こせる場所」にすれば良いのでは？と言う発想に変わり決意しました。

吉本…その想いを形にしたいと、店舗から企業など幅広くプロデュースされている白井さんへ相談を持ち掛けたのですよね。



橋本 ふうみ

橋本 ふうみ…そうです。そして、白井さんと話す中で出来上がったコンセプトがCOIL（コイル）です。Chutoku Open Innovation Labの頭文字をとってCOILです。私が思い描いていたイメージを表現して下さいました。

吉本…この想いを受け止め提案して下さいましたが、ご自身の考えや建築について、ここ数年で何か変化がありましたか。

白井…自分自身ではある一冊のサステナブル・ビジネス・マガジン（以下…ビジネス情報誌）との出

会いが色々な事を考えるきっかけになりました。それまでは、多くのクライアントはいかに儲けるか、いかに売り上げを上げるか、という考えが主体でした。しかし、2000年頃から地域や人のために何かしたいと、商業施設や店舗を出店する方たちの目的がちよつとずつ変わり始めましたね。その時に丁度、この雑誌に出会い、やはり世の中の方向性が変化してきていると思いました。そして、東日本大震災で一気に人の気持ちが変わっていったのを強く感じました。自身が変わったと言うよりも周りの人が変わっていつているのに合わせる感じでした。

橋本 ふうみ…白井さんからそのビジネス情報誌を紹介して頂いたのは何年前ですかね。

白井…10年くらい前ですかね。自分自身の悩みもあり、このままでは世間に必要とされなくなると言う危機感がありました。地域や社会に目を向けたいと取り残されるということを強く察知したのです。そして、その時自分が親しくして

いる経営者の方に配ったのを記憶しています。

橋本 ふうみ…20代の頃から白井さんとは交流があり、お互いに考え方が近いと感じていましたが、そのビジネス情報誌を読んだ時の衝撃は今でも鮮明に覚えています。私が目指したいのはこの世界観だと。最近ではSDGsやESG投資経営などに触れられていますが、当時はCSR/CSVを分かりやすく体系的にまとめられていました。

今回の本社屋の設計についての想いは？

吉本…今回、設計に関わって頂いたお二人にも伺いたいのですが、独立後の本格的な建築としては今回が初めてと伺いましたが、第一印象としてどう感じられましたか？

繁永…白井さんに中特さんをご紹介頂いた際に、他の会社さんとは違い、利益だけではなく次世代に何を残すかを考えられている会社だと感じられました。その建物

自体がビジョンを体現するもので、設計士としてもそこに責任があり建物の在り方や地域に対する責任について重視している、楽しいものを作らせて頂けそうだと感じました。

橋本 ふうみ…私は元々照明デザイナーという分野で活動をしています。照明は光を暮らしに取り入れるための道具ですが、その光の始まりは太陽光であり、生物の生命の源でもあります。白井さんから設計のお話を頂いたとき、中特さんの持つサステナブル思考と光の生命力とで凄まじいコラボレーションが実現するのだという気持ちでワクワクが止まりませんでした。

橋本 ふうみ…設計士としてこのようなコンセプトをお聞きになって、一般的なオフィスを建てるのと中特のオフィスを建てるのはどの様な違いがありましたか？

繁永…自身の仕事のやり方として、昔の古い写真を見ながら以前はそこに何があったのかと調べたり、この場所はどちらの方向か



繁永 政志 氏

ら風が吹いているか、夏至や冬至の時の光の具合なども調べ、その土地オリジナルのものを作っている、と言う事にこだわりがあります。今回は360度、割と見通し

が良いので周辺環境に配慮しつつ、「やっぱりあれ中特さんの建物だ」と周りから見られて恥ずかしくないものを考えました。また、様々な方との出会いの中で新たなモノ・コトを創り出す場所にした

重なり、混ざり合った空間を作りました。すると、形は三角形になったというわけです。

橋本心…まさに、Chutoku Open Innovation Lab=COIL。言葉の通り、この建物にはそんな想いが込められています。

繁永…時代に合わせて、5年後10年後と変化していく感じですよ。単なる物体としての建物があるのではなく、色々な想いがそこに凝縮されているモノ作り、私も初めてでしたがすごく楽しいです。

橋本心…私は経営者としてイノベーションの重要性を強く感じています。少子化が進む日本において、高度成長期の様に頑張っても売れる時代ではなくなる。ではどうすれば良いのかをずっと考えていました。マーケットが広がらないので他社との奪い合いになってしまえば全然ワクワクしません。誰かを犠牲にして自分たちが幸せになるのは限界が来ます。新たなものを作っていくと言っても、正直出尽くしているだろうと感じていました。これは、化学反応を起さない限り新しいものは生まれな

いだろうと言う発想になったのです。私もつい自分の経験の延長から考えてしまうので、自分と違う様々な立場の方の意見は大切にしたいと思っています。

吉本…白井さんは永年建築に関わる中で「廃棄」の考え方も変わりましたか？

白井…結局モノ作りをする中でゴミって出てきますよね。せめて、その作ったモノはゴミにならない

ように、出来るだけ長い間使えるようにと思っています。20年30年飽きられずに、いつまでも変わらず使ってもらえるモノとなると、「シンプル」に行きつきます。すると美術館の様にどの様な役割でも果たせるような物になる。

吉本…価値のあるものは自然と残っていくという事ですかね。

白井…ある人にとって大事なものが大事じゃないものかを判断する。





白井 紀行 氏

今回の表現としては想いを伝達する手段方法として建物が存在する。例えば、会社としての想いが伝わり、それさえ伝われば長く語り継がれながら使ってもらえるはずです。

繁永…今回オフィスの周りに植栽した木々が20年30年経ち、そのうち森になって緑の中に建物がちよつとだけ見えている、なんていう姿を見たいですね。

橋本心…数年後に入社した社員が既に森になっている状態しか知らなくて「なぜ森の中にオフィスが

あるのか？」と言うのが語り継がれていければ嬉しいですね。

吉本…今回設計するにあたり「COIL」のコンセプトを盛り込むという意味でこだわった点がありますか？

繁永…建物がいかに自然に還るものであるかという事に気を遣いました。廃棄物が再利用されるか、用される様になればと思いました。

また、今後働き方のスタイルも変わっていく中でフレキシブルに使いやすい器であるようにしました。

橋本季…私は「生命の原点を照らす」ことでした。この施設で働く人や利用する人が心地よさを感じ、のびのびと過ごせる光の環境をつくることに努めました。イノベーションを起こすのは人ですので、その人たちのポテンシャルを引き出せるように陰から支えられれば、という思いでした。

橋本心…今回の施工会社の現場監督の方も、こういう形で建築するのは初めてだと仰っていました。ただ建てるのではなく、「想い」が詰まっている事を理解して共感して下さっている。同じ空気感で携わって下さるのはありがたく嬉しいです。

新たなチャレンジ

吉本…今回関わって下さる皆さんが私たちの考えを理解しご協力頂けているのは本当にありがたく感じています。さて、COILで一回目のチャレンジとして廃棄物を利用したアートコンテスト「COIL Upcycle Art Contest 2021」を実施中です。沢山ご応募いただきたい

た事からも関心の高さがうかがえますが、今後引き続き新たなチャレンジなど考えていますか？

橋本心…たくさんあります。出来る出来ないではなく、想像を超える様な事でも言い続けていきたいと思っています。そのうち、それを真に受けてやりだす社員が出るのではないかと期待しています（笑）。今の私たちの実力だけで考えず、まずは言葉として発する。すると、新たな出会いが生まれ、そこに集まる人たちの英知が結果され可能になるかもしれない。自分たちだけでやらない、完結させない、というのがこのCOILなのです。先日オリmppickを観ていて感じました。私たちは目の前にいる選手にばかり目がいきますが、実はメンタルトレーナー、身体管理のトレーナー、技術トレーナーやそれを分析する技術者や道具の開発者など、実に多くの人材が関わっています。この対談でもこうして白井さんと繁永さんと吉賀さん（カメラマン）に協力して頂いてより良いものが出来上がると思っています。

吉本…皆さんからも何かこういう形になれば良いと言うお言葉をいただければ。

白井…近いうちにきつと新しい仕事が生れますね。

繁永…リサイクルは100%に戻すこと、COILはそれだけに留まらず120%の何かに変えていくこと。20年後30年後が完成形になるようにお手伝いしたいと思います。

橋本季…この度のアートコンテストでは審査員長も兼ねた運営側



橋本 季和子氏

としての役割を担わせて頂いているお陰で、毎日ワクワクしながら取り組んでいます。忖度や経験、常識を無視し、常にイノベーションに向かってトライしていくのがCOILだと思います。「ワオッ！」という驚きの声から沢山発信されていくのだと想像すると、とても楽しみです。

橋本ふ…中特グループが将来にわたって継続し、より発展していくために正に「不易流行」の精神で次世代に繋いでいきたいと思っています。

COILとは Chutoku Open Innovation Lab の略

固定観念に捉われない物の見方で、現代の社会の仕組みを中特グループが Redesign することでイノベーションを起こし、社会の課題を解決する取り組みのことで。永年にわたり地域密着型企業として、山口県周南市で環境事業に携わってきた私たちは、本社屋をただ企業として「働く場」だけではなく、新たに「Re」をデザインする場所として、地域に住む様々な方が出会いイノベーションを起こす、まるでコイルが渦を巻きながらエネルギーを蓄えるようにモノやコトに新たな価値を生み出す、そんな存在になりたいという願いがこめられています。

そして、COIL のもう一つの意味も大切にしながら新たなプロジェクトにチャレンジします。

- C (creativity) 創造性
- O (observation) 観察力
- I (identity) 独自性
- L (lifehack) ライフハック・・・人生をよりよく生きていくための工夫

一緒に「Reの森」を造りませんか？

(株)中特ホールディングス本社屋建設に伴い敷地内への植栽の取り組み“未来につながる「Reの森」プロジェクト”をスタート致します。未来のため、CO₂削減に向け、私たちと一緒に木を植え、育っていく姿を共に見守って下さる方を（企業様含む）募集致します。次世代での生活がより豊かになる様、皆さまのお力をお貸し頂けませんか。

このプロジェクトにご賛同いただける方はコチラまで →



特集 COILプロジェクトスタート

本社屋地鎮祭

3月16日(火)株中特ホールディングスの本社屋建設の地鎮祭を行いました。

本社屋は地域に開かれた事業所を目指し構内に地域との交流スペースを設けた造りになります。

竣工は2021年12月予定です。



新社屋完成予想写真



CUAC

「環境と人の「これから」に対する問いを提起・議論する場としてアートコンテストを企画」

テーマ「2050年の当たり前」

本来廃棄される様な物の活用、その物が独自に持つ特徴・魅力を一段と引き出せる作品プラン

このアートコンテストは中特ホールディングスの本社屋が、12月に完成するのをきっかけに立ち上がったCOIL-PJ（コイルプロジェクト）の第1弾で、本来廃棄されるような物の活用、その物が独自に持つ特徴・魅力を一段と引き出せる作品プランを募集し、廃棄されるものを利用したアートコンテストを通して、応募者や制作者やその作品を見る方々に廃棄物の再利用方法や環境保全の重要性について広く考えていただくことが目的です。

入賞作品は新たに完成する本社屋のオープンスペースに展示し、来社される方や地域の方にも見ていただき一見不要になったと思われる物でも、手を加える事で新たな価値ある物に生まれ変わる事が可能となり、「再び」「繰り返し」使う事によって物や自然を大切に考えるのが日常化していくことを望んでいます。

日程
エントリー 9月3日(締切ました)
1次審査 9月末日(済み)
本審査及び表彰
2022年1月29日予定

インスタグラム開設

コンテストに合わせてインスタグラムを開設しております。環境に関する写真投稿の他、実際にエントリーいただいたアーティストの活動のご紹介など発信しています。

COIL
By Chubu

COILUpcycleArtContest2021

Instagram アカウント
(@coil_upcycle_art)



COIL.UPCYCLE.ART

中特グループ全6社

「やまぐち健康経営企業」認定取得

1月29日(金)、中特グループ全6社で「やまぐち健康経営企業」として認定されました。

中特グループは次のように健康経営に取り組んでいます。

- ① 定期健康診断有所見者に対し再検査を促しほぼ全員受診
- ② 中特アカデミーで歯科研修、健康経営の研修実施
- ③ 禁煙へ取り組む社員への禁煙達成費用補助制度の創設



- ④ 様々な健康増進に関する情報共有、歯周病・乳がん・子宮頸がん・オフィスストレッチ等
- ⑤ 感染予防対策、「エミール オツシユ」導入他

今回の認定はスタートで今後維持していくことが重要です。社員の健康が会社の発展に寄与することで健康増進を更にサポートして行きます。



(株)ポータルハートサービス

宇部営業所開設

8月1日(日)(株)ポータルハートサービスは山口県西部での営業並びに業務を強化するため宇部市に宇部営業所を開設しました。
山口県西部の皆様、便利になりますのでどうぞご利用ください。



中国特殊(株)

特定建設業許可取得

中国特殊(株)は、8月20日(金)付け山口県より特定建設業の許可を受けました。
これにより大型建設工事の元請けが可能となりました。
山口県知事許可 (特13) 第9931号

思い出も整理する。



株式会社 ポータルハートサービス

片付けのお悩み解決実績 2,000 件以上
山口県の片付けはすべてお任せください！
専門のスタッフがお見積りから作業完了までサポート・対応いたしますので安心です。
もちろんお見積りは無料です。
☎ 0120-050-742 [受付] 平日 8:00 ~ 17:00

宇部営業所 宇部市中央町 2 丁目 5 番地 5
TSUNAGARU SPACE EN-biz



解体なら中国特殊にお任せください!

当社の 5つの約束

安全 安心 迅速

丁寧 思いやり



☎ 0120-105-568 [受付] 平日 8:00 ~ 17:00

環境教育リーダー研修開催

3月29日(月)中特グループで環境省主催・文科省協力で「教職員等環境教育・学習推進リーダー育成研修」が開催されました。

中特グループの取組みを教育関係者及び環境教育に関係ある方々に見て頂くことで、企業と連携するヒントを得るためのモデルケースとして関わりました。

- プログラム内容
- ① 「体験の機会の場」について
 - ② 中特グループ事業紹介
 - ③ (株)ライフの産廃処理工場視察
 - ④ ダチョウの給餌体験
 - ⑤ 体験型環境教育ワンポイントアドバース↓目白大学人間学部児童教育学科石田好広教授
 - ⑥ グループワーク

現在学校教育者は非常に忙しくて外部機関とコラボ授業を企画し、地元企業と繋がりがたくても中々その時間を捻出できない状況です。

そのため企業でSDGs・ESDに関わっていくには、学校教育カリキュラムとうまくマッチさせて学校教育者に発信することも企業側に求

められることなどを学びました。

参加者からは「一企業がここまでSDGs・ESDを意識し、多面的な行動をしていることを知れた」などの声をいただきました。



「子ども&環境&未来・You Me Go」開催

文科省委託事業「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」を昨年受託しました。プログラム名は、「子ども&環境&未来・You Me Go」です。

11月7日(土)第1回を開催し、その後今年3月まで計5回開催しました。

プログラムは、中特ホールディングス所有の施設に隣接した海岸のごみ拾いをして、そこで拾ったごみや貝殻などを利用して思い思いの工作(アートクラフト)を行い、きれいになった海岸で車エビ・ヒラメなどの稚魚の放流をします。

参加した子どもたちは「楽しかった」、「捨ててあるもので新しいものが出来てすごい」などうれしい声を聞くことが出来ました。

合計2,500匹の稚魚を瀬戸内の海に放流することができました。



せとうちブループロジェクト

2021 参加

7月3日(土)徳山駅前賑わい交流施設で、ひとりひとりが海について考え、海を守る活動を啓発するための「せとうちブループロジェクト2021」が開催されました。

中特グループは、「海の漂流物でアロマディフューザーを作ろう!」と題し参加いたしました。

「プラスチックモンスターをやっつけよう!」(発行・クレヨンハウス)の絵本の読み聞かせをして、世界の海で何が起きているのか、きれいな海にするにはどうしたらいいのか、また自分が出ることは何かを一緒に考えていただき、光市の虹ヶ浜の浜辺に流れ着いた貝殻や漂流物を使って「世界でたった一つのアロマディフューザー」を作りました。

絵本の読み聞かせでは、全員が真剣に聴いて下さいました。



海ごみゼロウィーク参加

日本財団と環境省の海洋ごみ対策プロジェクト・全国一斉清掃キャンペーンに参加しました。6月5日(土)に光市虹ヶ浜の海岸に社員及び家族54人が集まりました。海岸のごみ拾いや草刈りを実施しました。海岸がきれいになると心もスッキリときれいになったように感じます。



海に流出するごみの約8割は「陸」由来とされ、一度海に流出したごみを回収することは困難です。本取り組みは、海洋ごみ問題の周知啓発とともに、海洋ごみの流出を少しでも防ぐことを目的に実施されるものです。



Topics 2021

AT : 2020.10 ~ 2021.9



山口県産廃協会主催 山口大学合同研修開催

12月15日(火) (一社) 山口県産業廃棄物協会主催により山口大学合同研修が中特グループで開催されました。
15名の工学部学生の参加がありました。



山口県議会視察

11月13日(金)に山口県議会環境福祉委員会の皆さまが視察に來社され、ダチヨウへの給餌も体験されました。
ダチヨウには皆さんを笑顔にするスーパーパワーも！



「令和3年度やまぐち パワーアップセミナー」 でCEO講演

8月18日(水)に(公)山口県ひとづくり財団様からのご依頼で「令和3年度やまぐちパワーアップセミナー」として山口県内の教員の皆さまの研修の場において「不易流行」という演題にて橋本CEOがお話をさせていただきました。

オンラインでの講演でしたが、皆さま真剣に聴いて下さり沢山のご質問を頂戴しました。
また、「生徒たちがこれから出ていく社会には、こんな素敵な企業があるのだと思うと授業にも熱が入る」など、とても嬉しく有難いご感想もいただきました。



徳山大学でSDGs についてCEO講演

6月16日(水)徳山大学の江崎ゼミの授業にて、中特グループSDGsの取り組みについて橋本CEOがお話をさせていただきました。

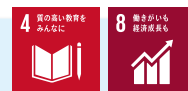


NEXT 17 Targets

次世代のために果たすべき、中特グループの17の課題 【経営&ISO統合目標】

中特グループが地域社会に強く必要とされるために、次世代のために、環境のこと、社会のこと、子供たちのことを考えてグループで何をすべきか、あるべき姿に向かって取り組んでいます。2030年を見据え3か年計画並びにTargetsを見直し、17の課題に取り組んでいます。

No.1 中特アカデミーによる自己成長



社員の自己成長を図り、自ら考え行動する自立型姿勢を基本に、お客様から頼りにされる人、中特グループ目標を達成実現できる人、本気のプロフェッショナルを目指し「中特アカデミー」を実施しています。



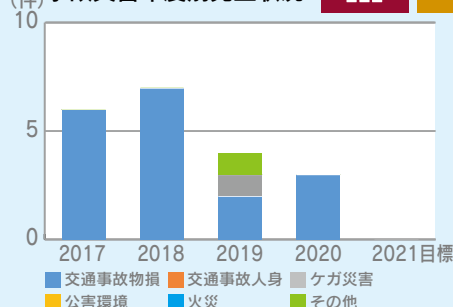
2015年度から開始し7年目となります。2021年度は、部長・GLの管理職は労務・情報セキュリティなど9単位、一般・主席・主任はCEO講話・廃掃法など6単位の必須科目の他、原価管理入門・ライフプラン・腰痛体操など選択科目を実施します。

No.2 事故・災害の撲滅



災害事故は常に"ゼロ"を目標に取り組んでいます。
業務の内容に関連して車両による小さな物損事故が散発します。
JBK（事故撲滅研修）・RA（リスクアセスメント）活動・KY活動その他諸々の活動により2020年度3件まで削減しましたが、さらに安全運転・KY運転・かもしれない運転を徹底して事故ゼロを目指し活動します。

事故・災害年度別発生状況



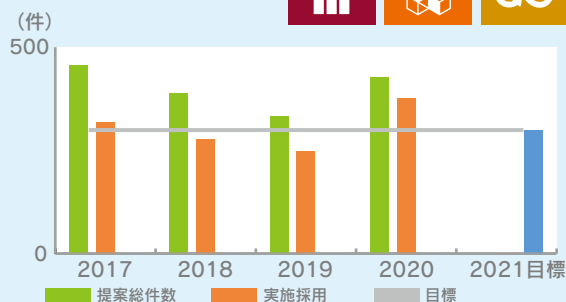
No.3 中特チームカイゼン活動



社員の問題意識を高め、業務効率化・コスト削減・省資源・省エネ・安全・環境美化向上等々を図るため、改善提案制度を実施しています。

2020年度実施採用件数は377件/年となり、件数目標は達成しました。

2021年度は実施採用件数300件/年目標とし、内容のレベルアップを図ります。



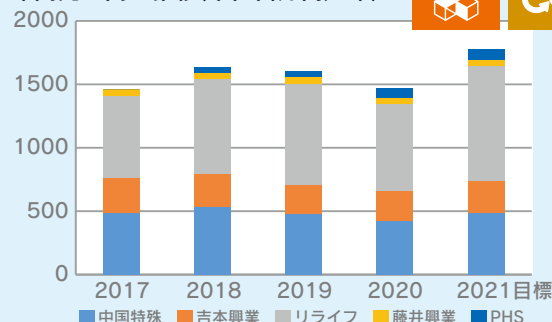
No.4 年間売上増



売上高は、2020年度は前年比10.1%減の14.7億となりました。2021年度は、17.8億20%増を目標としています。

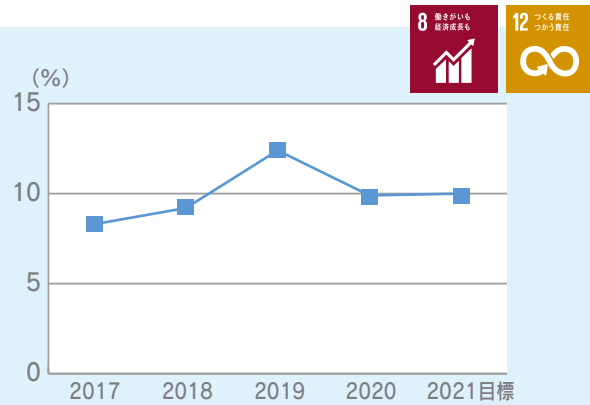
少子高齢化、人口減、周南コンビナートの操業減少・産廃減少など、厳しい状況ではありますが、リサイクル事業拡大・解体事業拡大・ポータルサービス事業の展開・異業種との連携など売上増に取り組んでいきます。

年間売上高の推移(単位百万円/年)



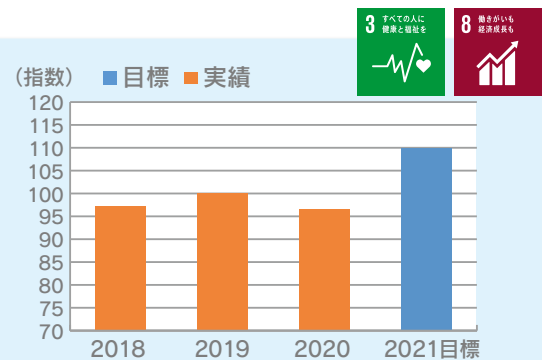
No.5 経常利益率10%超確保

営業利益率目標を10%としています。
2020年度は、9.9%となりました。
AIやITの活用も視野に入れながら2021年度は受注からの各プロセスについて収益を見直し、改善を進めてまいります。



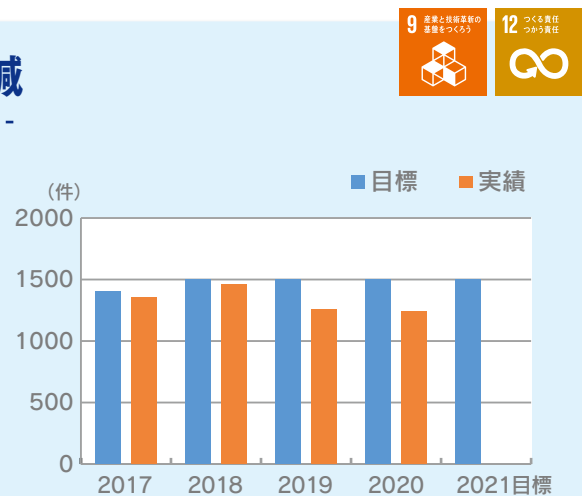
No.6 働き方改革、労働生産性向上

少子高齢化・労働人口減少の中で持続可能性を確保するために、少数精鋭で生産性の高い体質作りが重要です。
IT活用・業務効率化を進め、同時にワークライフバランスの推進・社員の健康で充実した生活を後押し、「社員の幸せNo.1」を目指します。当面2019年比10%向上を進めます。



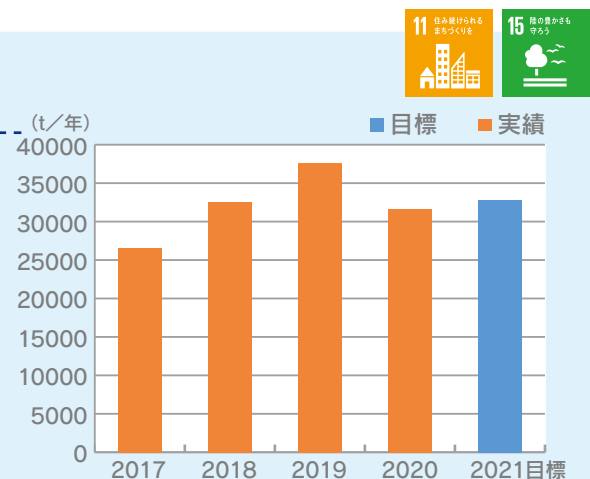
No.7 お客様の声収集とクレーム50%削減

私たちの収益の源は「お客様」です。
お客様のニーズをとらえ、活かすことで顧客満足度を上げ、さらには私たちのレベルアップにつながり、さらなる顧客サービス向上につながります。また苦情やクレームは「宝」、私たちにとって業務改善の大きなチャンスです。
2020年度のお客様の声収集は、目標1,500件/年に対し、1,240件/年と目標達成率83%となりました。
2021年度も1,500件/年の目標で取り組んでいます。



No.8 廃棄物受入量の拡大

産業廃棄物（汚水・脱塩・改質・その他）受入量は、地域環境維持向上のため、お客様のニーズに応えるため、売上増のため、拡大を図るべく取り組んでいます。
2020年度は、建設汚泥は現場で改良され埋め戻し土として利用するなど産業廃棄物として処理する量が減少してきたため、前年度比16%減少、31,619t/年となりました。

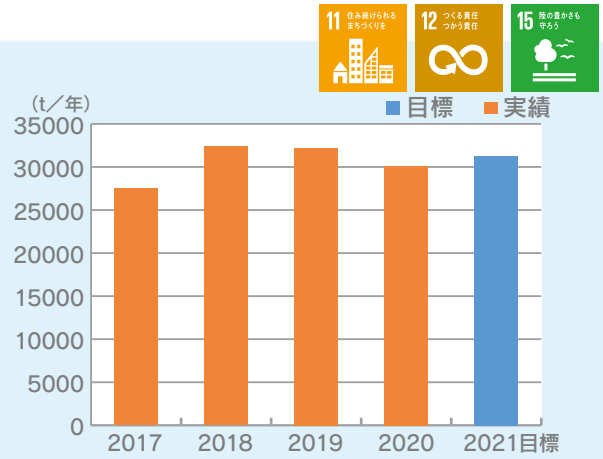


No.9 再資源化量の拡大

汚泥等の再資源化量についても受入量と連動し、拡大を目標として取り組んでいます。

2020年度は、廃棄物受入量減少に伴って前年比6.5%減少し30,097t/年となりました。

引き続き量拡大に取り組んでまいります。

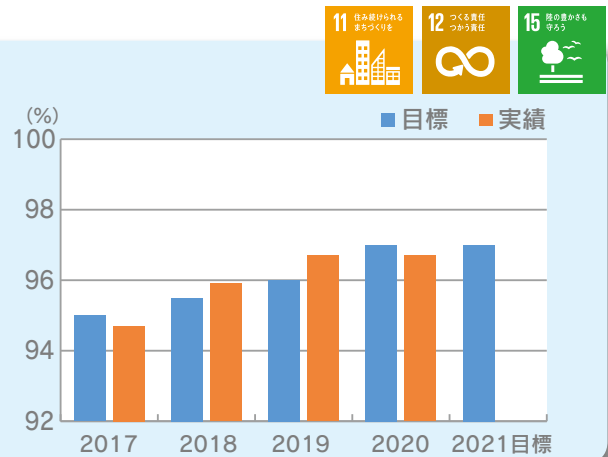


No.10 再資源化率アップ

地球環境の維持改善にわずかでも貢献するため、産業廃棄物の再資源化率を極力上げる様に取り組んでいます。

2015年92%から向上を図り、2018年度95.9%、2019年度96.7%にアップしてきました。2020年度は横這いの96.7%となりました。

さらに向上を目指します。

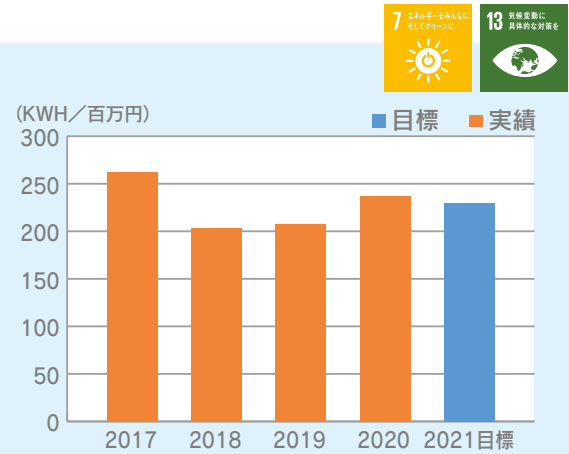


No.11 電気使用量原単位の削減

日本政府は、CO₂排出を2030年に2013年比26%減で取り組んできましたがこれをカーボンニュートラル実現のため見直し46%減としました。

これに沿って見直し3%/年削減に変更し取り組みます。

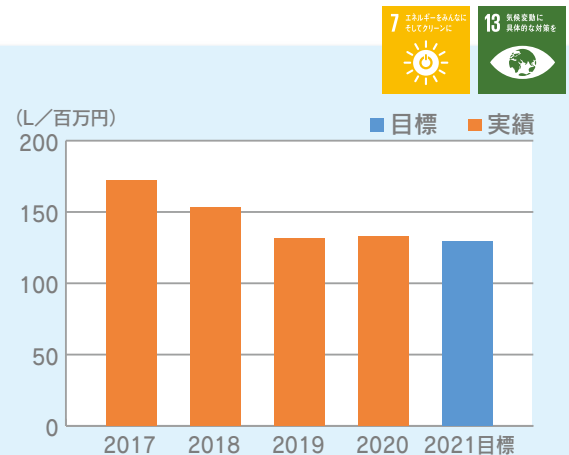
2020年度は、各部門の売り上げ減少により原単位は14%増となりました。



No.12 燃料使用量原単位削減

燃料原単位についても、電気量と同様に年3%削減目標に変更し取り組みます。

2020年度は燃費削減努力、車輛更新等実施するも売上減により微増となりました今後とも効率的な運航ルート、アイドリングストップなど燃料削減の取組みを継続してまいります。



NEXT 17 Targets

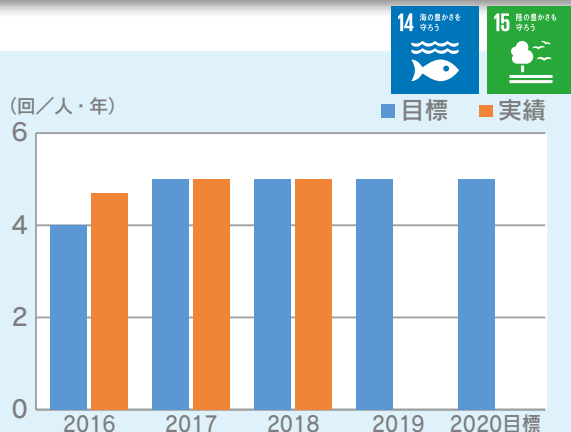
No.13 CSR活動の浸透・CSR検定合格者50%

CSR活動のさらなる浸透を図って行きます。
 CSR検定試験3級合格者は2019年度末合計19人ですが2020年度+2名の21人となりました。
 試験事務局を担当してきましたが、試験の形式がオンラインとなり、グループ社員も戸惑いがあり見直しが必要と考えています。



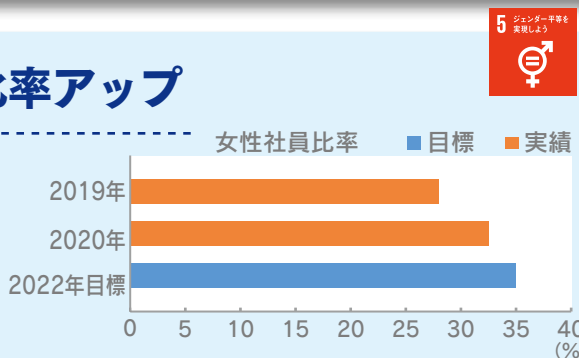
No.14 ボランティア活動への参加

地域のイベント時及び海岸などの清掃ボランティア活動を継続して実施しています。
 クリーンアップ活動ボランティアは従来の延べ回数から、2015年度より1人当たりの年間5回以上の参加目標としています。
 2020年度もコロナ禍で各種イベントなどが中止となり、感染拡大防止のため従来の様なクリーンアップボランティア活動は困難になりましたがボランティア精神は忘れずに行動します。



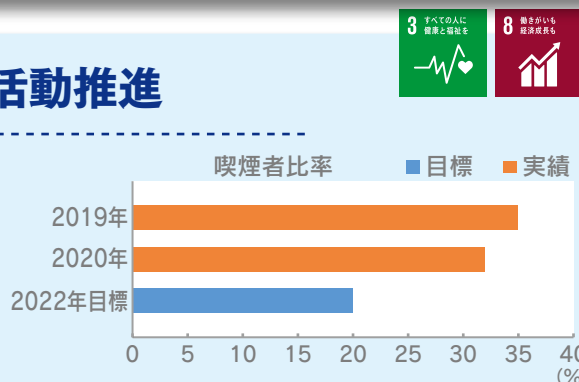
No.15 女性社員比率、女性管理職比率アップ

多様性・ダイバーシティを推進してまいります。
 現在女性社員比率28%これを3年以内に35%にすべく推進します。
 障がい者雇用、法律(43.5人以上の企業2.3%)には該当しませんが、グループ全体で準用し法定の倍以上5%を目指して努力します。
 外国人雇用、すでに一部採用しておりますが今後雇用比率6%を目指し拡大して行きます。



No.16 健康経営の確立と健康増進活動推進

2021年1月中特グループ全6社で「やまぐち健康経営認定制度」を取得、グループ全社が認定基準65点以上を達成しました。今年も継続維持向上します。
 健康診断結果100%フォローします。
 喫煙者(比率)減少 34.8%(2019年)⇒20%以下(2022年度)
 禁煙助成制度策定並びに運用



No.17 リスク管理・BCP見直しと機動的運用確認

異常ともいえる豪雨・台風など、予想される南海トラフ地震、新型コロナ・インフルエンザなど感染症対策、これらの発生時に如何に事業を継続出来るか、地域社会に必要とされるために確立しておきます。
 事業継続計画(BCP)を見直し作成しました。LINEWORKSによる安否確認システムを導入し、訓練実施しております。
 自助・共助・公助を基本として、社員と地域社会のくらしを守るBCPの確立と運用を進めます。

環境のために



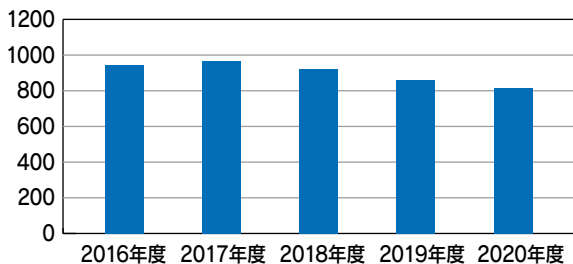
「中特グループは、地球上の全人類及び地域社会とともに持続可能な発展をするために、環境保全に努め、環境に優しい企業活動を行う。」という考えのもと、地域環境活動を推進しています。

CO₂削減の取組み

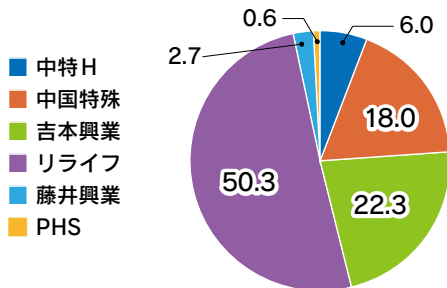
日本も2050年のカーボンニュートラルを宣言し、2030年までの削減目標を定めています。これに沿って中特グループもCO₂削減を推進しています。

2020年度CO₂発生量は817t-CO₂/年と省エネ効果、吉本興業のルート見直し・車両更新、リライフ操業見直し変更などの影響で前年比5%減少となりました。今後も具体的な削減に取り組んでまいります。

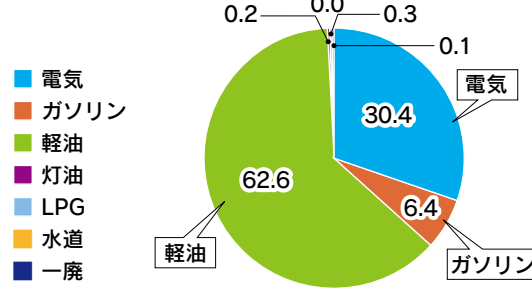
CO₂排出量推移 (単位: t-CO₂/年)



各社別CO₂排出内訳 (%)



種類別CO₂排出内訳 (%)



種別排出量並びに各社別排出量は次の通りです。

環境不適合	原因と対策
環境目標未達 計延べ7件 再資源化量・汚泥等受入れ量拡大 電力・燃料原単位削減等	事業環境の変化 コロナ禍により廃棄物受入れ量が減少 売り上げ減少が共通の主原因 建設汚泥拡大目指し営業と活動
内部監査不適合 2件 不適合報告の有効性レビュー未実施 社員退職後の変更管理未実施	レビュー前を別管理、忘れ防止 役割責任明確に、引継ぎ実施
緊急事態発生なし	-

環境不適合の発生状況

2020年度次の不適合が発生しました。其々原因調査並びに処置対策を実施しています。環境緊急事態の発生はありません。

環境ISO14001

環境ISOと労働安全ISOの統合を進めており、昨年度マニユアルの1本化等を進め、今年度は内部監査、サーベイランス審査を統合しました。

統合内部監査

5月17日(月)～21日(金)部門ごとに分かれて内部監査を実施しました。安全環境両方の出来る内部監査員が若干不足していますが、それぞれ資格を持つ4名の審査チームを編成し実施しました。

安全と統合サーベイランス審査

安全は1年次サーベイランス、環境は2年次サーベイランスにあたります。7月28日(水)～30日(金)に審査機関の株式会社日本環境認証機構にて統合審査を受審いたしました。

環境関係で2件の改善の余地を指摘されましたが、認証継続されました。

改善の余地

- ① 直接影響と間接影響の分類方法や総合点の表記手順に改善の余地あり
- ② 内部監査の指摘事項が環境と労働安全衛生共通の場合の計数方法に改善の余地あり

ノーマイカーの 拡大取組み

今年4月より従来取組んでいたノーマイカーデーを発展的に拡大し、国連のSDGsアクションガイド（ナマケモノにもできるアクションガイド）を参考にグループで取り組む重点5項目を設定し活動することになりました。



SDGsを意識した中特環境デー 省エネ・省資源・リサイクル活動

- ① 電気節減、不要照明消灯、エアコン温度適正設定
- ② 紙を節約、印刷を少なく、ソフトで対応
- ③ マイバッグ・マイボトル持参
- ④ 余った食べ物をフードバンクへ寄贈
- ⑤ ノーマイカー・相乗り・自転車・徒歩移動

マテリアルバランス

事業活動に伴う資源・エネルギーなどの投入量と、それに伴う地球環境への排出量を表しています。限りある資源を大切に、環境負荷を最小限にすべく取り組んでいます。

(2020年度分)

INPUT

事業に伴う資源・エネルギー等

汚泥	24,469t
がれき類	1,028t
ガラスコンクリ他	47t
廃プラスチック類	709t
金属くず類	149t
繊維くず	2t
紙くず類	16t
ダンボール紙類	342t
木くず	507t
廃アルカリ廃酸	394t
廃油	219t
銲さい	40t
もえがら	2,748t
ばいじん灰類	455t
動植物性残渣	1,015t

処理水	43,272m ³
水道水	4,186m ³
地下水	2,018m ³

電力	384,761kwh
ガソリン	20,691ℓ
軽油	195,665ℓ
灯油	565ℓ
LPG	152m ³

コピー用紙	196,711枚
-------	----------

中特グループ

OUTPUT

再資源化、地球環境への排出等

(リサイクル対象のもの)	
セメント原料	27,270t
がれき類	700t
ガラスコンクリ陶磁器	1,338t
廃プラ	149t
ペットボトル	384t
金属くず	176t
缶	43t
紙・繊維くず	4t
ダンボール紙類	342t
木くず	501t
肥料原料	0t
石膏ボード	17t
(リサイクル対象としないもの)	
汚泥焼却	655t
汚泥埋立	411t

処理排水	38,270m ³
下水排水	4,046m ³
地下水排水	1,950m ³

CO ₂ 排出量(換算)	817t
(エネルギー及び水道使用量から算出)	

一般廃棄物	1,375kg
-------	---------

リサイクル率 96.67%

リサイクル率

リサイクル率は下記の式で算出しております。

$$\text{リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{処理後再生利用量}}{\text{廃棄物排出量}} \times 100 \Rightarrow$$

2020年度リサイクル率
96.67%

リサイクル対象のもの：金属、木材、紙、プラスチック、セメント原料、肥料原料等

リサイクル対象としないもの：埋立処分、燃料（サーマルリサイクル）等

地域社会とともに



中特グループは、地域社会の一員として、地域社会とのかかわりを大切に、グループ全社をあげて様々な企業活動を行っています。

大津島での作業車両にAED搭載



中国特殊(株)は、周南市大津島でし尿等の一般廃棄物の収集運搬や浄化槽の維持管理を行っています。この度作業車両にAED自動体外式除細動器を搭載しました。大津島からの船上で心臓マッサージをしながら病院へ移送されている場合に遭遇した社員から「AEDがあればよかったの」という言葉をきっかけに、離島の大津島でAEDを車両に搭載することになりました。



救急救命講習会の様子

AED搭載車両は月の半分は大津島で作業しています。緊急で必要になった際はお声かけください。グループ社員の約半数がAEDを使える救急救命講習を受講しています。中国特殊(株)と(株)藤井興業は周南市が提唱する「もやいネット」にも加盟し、日々の業務の中でお声かけや異変を察知した時の行政への連絡を行っています。

中学校キャリア学習



3月15日(月)周南市太華中学校にて1、2年生を対象とした「ライフデザイン講話」が開催されました。これは、様々な職種で活躍している人の話を聞く事を通して、進路や自らの生き方を考えることを目的としたものです。入社2年目の河田社員が講師として登壇し、自らの体験を元に講話を努めました。

環境出前授業



11月4日周陽小学校



11月26日榴浜小学校

周南市内小学校の環境出前授業継続実施中です。コロナ感染防止のため講堂で距離を取って大声を出さない様に対応開催しました。

いきいきサロン

周南地域で開催されているいきいきサロンにも引き続き訪問しています。

コロナの関係で訪問が難しくなっておりますが少しずつ活動できるようになってきました。



フードバンク活動

2021年9月でフードバンク山口しゅうなんステーション開所後2年2カ月経過しました。フードバンクポスト設置場所も周南地域で18か所となりました。現在までに寄贈いただいた食品等は9,856kgになります。

これからも「もったいない」を「ありがとう」に変える活動にご協力をお願い致します。



連合山口周南地区様より寄贈

サンタクロース?

12月のクリスマスシーズンには、吉本興業のスタッフがサンタ帽をかぶり、回収に周りまわりました。

コロナで気持ちが沈みがちな今だからこそ地域の皆さんが笑顔になれば嬉しいです。



清掃ボランティア活動

7月17日(出) 大津島
海岸清掃&稚魚放流ボランティア



9月18日(出) 下松港
第一ふ頭海岸清掃ボランティア



お客様とともに



中特グループは、お客様や地域に愛される企業を目指し、真にお客様の立場になったサービスに取り組んでいます。

HAPPYHAPPY勉強会

6月4日(金)に「第14回 Happy Happy勉強会」を開催いたしました。

アフリカやラオスで地雷、小型兵器、子ども兵、平和教育についてご活躍をされているNPO法人テラ・ルネッサンス理事・創設者の鬼丸昌也氏に「支援の現場で学んだひと・チーム・世界の変え方」世界の中の「世界中の子どもたちのために」というテーマでご講演いただきました。

支援される者も、支援する者も、解決するプロセスこそが何よりの支援だという言葉が大変印象に残りました。当たり前に



第14回 Happy Happy勉強会

支援の現場で学んだひと・チーム・世界の変え方
～世界中の子どもたちのために、今、「私」にできること～

2021
日付 **6/4** (金)
15:00～16:30

場所 山口県商工会連合会 周南総合行舎 & ハイブリッドセミナー

参加方法 オンライン



普通に暮らしていることにとても幸せを感じました。鬼丸様の言葉を胸に自分にできることから意識していきたいと思えます。

今回はリアルとWebとのハイブリッド開催で計画しておりましたがコロナ感染拡大のため、Webのみでの開催となりましたが無事に終わることが出来ました。

リライフ下松リサイクル工場

ISO9001認証取得

10月21日(木)、(株)リライフ下松リサイクル工場はインターテック・サーティファイケーション(株)の認証を受け、「ISO9001」を取得しました。

(株)リライフ下松リサイクル工場は、主に産業廃棄物の中間処理及び収集運搬を主とした事業を行っています。中間処理とは最終処分やリサイクル出来るように形状、性状、成分等を整え安全化、安定化、減容化する事です。

中間処理したものは最終処分、又はリサイクル先に搬出を



しますが、その際、搬出先の希望の規格に合うように調整が必要となりますので、細心の注意を払って調整を行っています。

一般的な製造業では「安定的」に「安全」な原料で製品を「作る」という事になります。が、(株)リライフ下松リサイクル工場では「不定期」で「不安定」な廃棄物で「創る」という事になります。

これからもPDCAを繰り返して、ISO9001を確実に運用していきます。

中特グループ全社で ISO9001 認証取得活動開始

リライフ以外の他5社においてもISO9001を認証取得すべく活動を開始しました。

お客様の様々なニーズに答えると共に改善し続ける仕組み作り、学び続ける人材作りを目指します。

来々年2022年中の取得を目指しています。

お客様のご意見

発電所では、各種設備の運転・維持管理で廃棄物が発生しており、中特グループの(株)リライフ様とは、産業廃棄物の収集・運搬、処分で大変お世話になっております。

当所から委託している品目は、金属くず・ガラスくず・コンクリートくず・廃プラ類など多岐に渡り、これらの処分は、発電所の運営に欠かすことのできないものです。

また、設備保守工事をグループ会社である中電プラントが行っており、工事で発生した廃棄物もリライフ様で処分して頂いています。

日頃のご縁もあり、このたびCSR報告書の「お客様のご意見」原稿を依頼され、改めてCSR報告書を読ませて頂きました。

2020年のCSR報告書では、グループの「Re」のロゴマークが一新され、各社のスローガンが規定されています。

この「リブランディング」にはヒア

リングから決定まで9カ月を要し、グループ各社からお客様まで幅広く参加され、全員参加による社員のモチベーション向上・グループ全体の一体感が感じられ、決定までのプロセスについて大変参考になるものでした。

ロゴマークについても明るいブルーとグリーンで、全体としてハート型となっており、明るく活気のある会社全体のイメージが感じられます。

もう一つ、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsと中特グループの課題についても興味深く読ませて頂きました。

⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑭海の豊かさを守ろう、⑯平和と公正を全ての人に、の3項目が増えており、マークの数も32個から36個となっており、ここからもグループの課題改善を積極的に行っていることが分かります。

中国電力株式会社
下松発電所 課長 今田 栄様

産廃処理施設の確認もさせて頂いており、この2月に伺った際には、大変清潔な現場で、適切に産廃処分をして頂いていることはもちろん、明るく元気な対応で、丁寧に案内して頂き、お客様対応についても参考になりました。

当社では、中国電力グループ環境行動計画を策定し、廃棄物の発生抑制(リデュース)を第一に、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)による3Rの推進を掲げ、石炭灰以外の廃棄物再資源化率95%以上を目標としています。(中特グループの再資源化率96.7%!)

この目標達成には、中特グループの様な実際にリサイクルをして頂ける企業が必須となりますので、これからもご協力をお願いします。

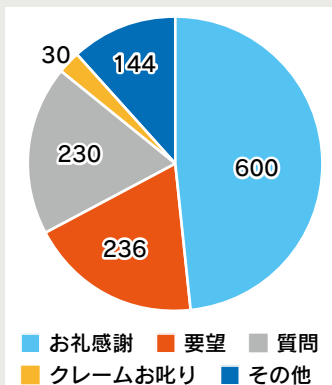
最後になりますが、中特グループ様の益々のご発展と社員の皆様のご活躍を期待しております。

以上



内訳の中でクレーム・お叱りがあり、内容は表に示す通りです。引き続きクレーム減少の努力をいたします。

	2017年	2018年	2019年	2020年
連絡コミュニケーション不良	19	4	5	3
督促など	15	11	7	9
ミス(宛先、請求書内容など)	12	7	4	2
作業ミス、トラブル	9	10	7	8
運転マナー、駐車場所など	9	7	2	1
その他	14	14	2	4



苦情ゼロとお客様の声
苦情の発生はありませんでした。お客様の声は2020年度1,240件/年でした。内容は左の通りです。

社員とともに



中特グループは、「すべては、応援からはじまるの精神で接する」という社員に関する方針を掲げ、社員は会社にとって一番大切な存在で、社員とその家族を守る事を最大の目標とし、事業拡大よりも優先します。

事業発展計画発表会

テーマ…感謝報恩

8月28日(土) 2021年度中特グループ事業発展計画発表会を遠石会館にて開催いたしました。
今年もコロナ禍の中、開催が危ぶまれましたが、感染防止対策を徹底し開催しました。

グループ代表 吉本英子より

テーマに沿って「感謝・信頼・恩に報いる」、中特グループは創業時から色々な人に支えられて発展してきた。その方々の恩に報いなくては、との話がありました。



CEO 橋本ふくみより

「2020年度総括および中特グループ未来地図」の発表があり、未来へのチャレンジ(中期目標)と今期の重点項目について熱の込められた話がありました。



各事業部トップによる 2021年度経営計画発表

中国特殊株式会社	川本文吾
株式会社藤井興業	同右
株式会社吉本興業	吉本妙子
株式会社ポータルハートサービス	篠田直美
代表取締役	江村範久
株式会社リライフ	



ご来賓の皆様

株式会社日本政策金融公庫
下関支店長兼中小企業事業統括 妹尾和英様
株式会社山口銀行櫛ヶ浜支店 支店長 安田雅典様
西京銀行周南支店 支店次長 村中浩幸様



表彰

◆最優秀部門賞

(株)ポータルハートサービス
みんなが一致団結し、目標を達成した事を評価され受賞



◆特別賞「安全・事故撲滅」

(株)吉本興業
ヒヤリハット摘出等による事故撲滅活動の結果14カ月にわたり事故発生なしを評価され受賞



各部門の個人表彰

◆撮影の腕が上がったで賞

企画広報室 上原康宏



◆「あーちゃんとして」だーこちゃんとともに頑張ったで賞

C S営業部 河田彩里



◆何時も明るく

元気な挨拶で賞

中国特殊マネジメントグループ

古賀洋子



◆留守をしつかり

預かったで賞

藤井興業 河村英彦



◆人助けしたで賞

吉本興業

高松真志 西尾浩和

岡本聡志 山口智裕

野中裕介



◆お客様に寄り添うで賞

ポータルハートサービス

池部美由紀



◆綺麗で賞

リライフ 大東正幸



◆素直で賞

リライフ 福田大輔



従来であれば事業発展計画発表会後、懇親会を盛大に開催し席上で表彰しますが、今年もコロナのため懇親会はなく紹介のみと別途各事業部での表彰となりました。

社内コミュニケーション改善

社内のイベントがコロナ禍で開催できずグループ社員間のコミュニケーションが希薄化しています。

また、2回/年の頻度で社内報「Communication」誌を発行していましたが、社内全員が使っているLINEWORKS掲示板を利用し、タイムリーに必要な情報を提供することにしました。

- ・ CEOビデオメッセージ 「ふくみチャンネル」
 - ・ 新入社員紹介
 - ・ 突撃社員インタビュー動画
 - ・ 俺の道具
 - ・ 資格合格者インタビュー
 - ・ SDGs コラム
 - ・ 部門特集
 - ・ その他特集記事
- 工夫を凝らし情報発信しています。一方的な発信だけでなくコメント欄もあり、双方向のコミュニケーションが可能となりました。

中特アカデミー

2021年度の中特アカデミーは一般社員は6単位

- ・ CEO講話
- ・ 廃棄物処理法研修
- ・ 就業規則
- ・ 情報セキュリティ研修
- ・ GL等管理職は9単位
- ・ CEO講話
- ・ 廃棄物処理法研修
- ・ 情報セキュリティ研修
- ・ 管理会計研修
- ・ 労務管理研修

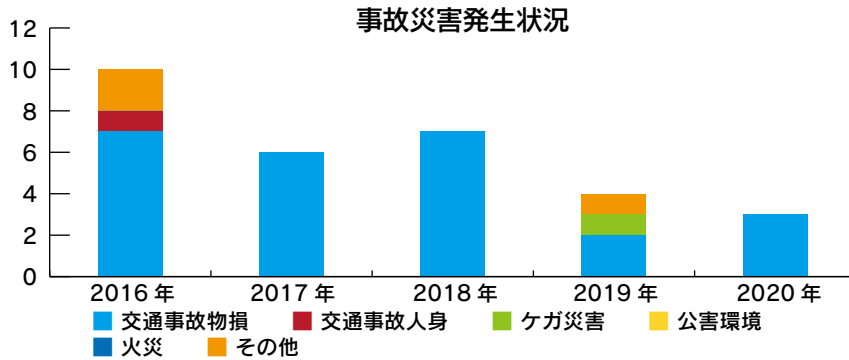
その他選択制で「原価管理入門編」「ライフプラン・マネープラン」「腰痛体操」などを計画しています。



事故災害ゼロをめざして



事故災害ゼロを目指してグループを挙げて、各管理者・安全衛生委員を中心として安全衛生防災活動に取り組んでいます。



2020年度3件の交通物損事故の発生がありました。休業・不休災害の発生はありません。

事故災害発生状況

	内容	原因
①	し尿処理場の坂道で、トイレで離れた際バキューム車が下がり施設の鉄塔に当たった	サイドブレーキの引きが甘かった トイレで焦った、車輪止めをしていなかった
②	回収先にて構内汚泥荷下ろし場でバーが上がりきっていないのに確認せずバックし当りバーを曲げた	確認不足、片側のミラーしか見ていなかった だろろ運転
③	市施設内ペットボトル排出時、ダンプアップ後に残りを前進し降ろそうとした処、前上部がコンクリート梁シャッターに当たった	前上部確認不足 助手の誘導方法不良



吉本興業井上リーダー 優良安全運転者受賞

7月2日(金)吉本興業の井上グループリーダーが山口県安全運転管理者協議会より「優良安全運転管理者表彰」を受賞しました。
多年にわたり自動車の安全運転管理に必要な業務を行い、交通安全の推進のため多大な功績があったと認められたものです。
他の社員も後に続くよう、日頃から安全運転に努めて参ります。

BCP策定

BCP(事業継続計画)の見直し策定を実施しました。
30年以内に70%の確率で発生すると言われている南海トラフ地震、毎年発生する豪雨、新型コロナウイルス感染症のまん延など想定対応すべき課題は多く、中小企業庁の手引きに従って見直し策定しました。

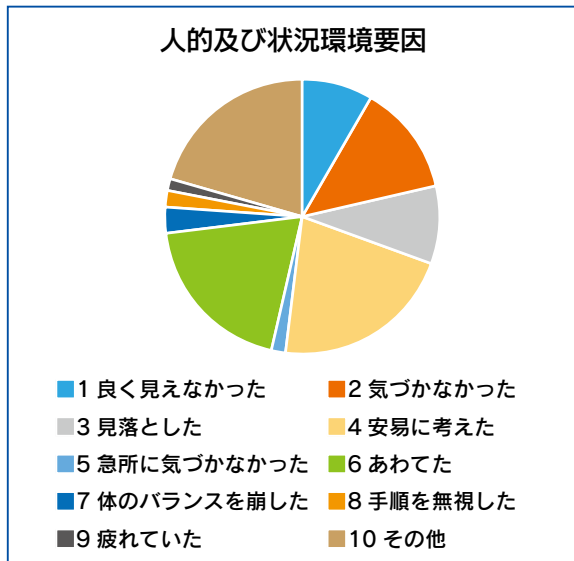
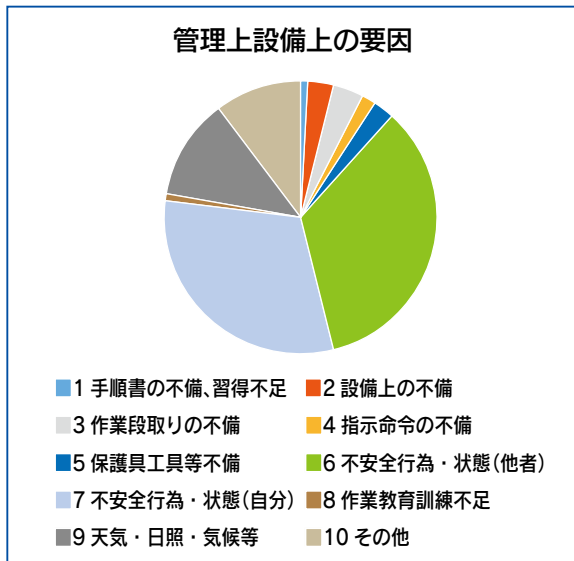
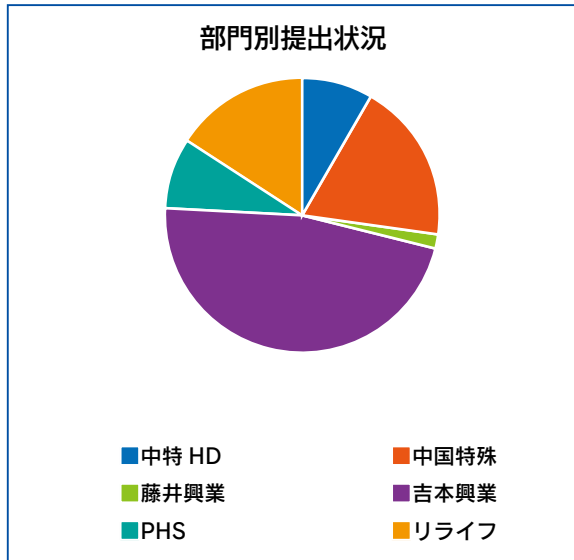
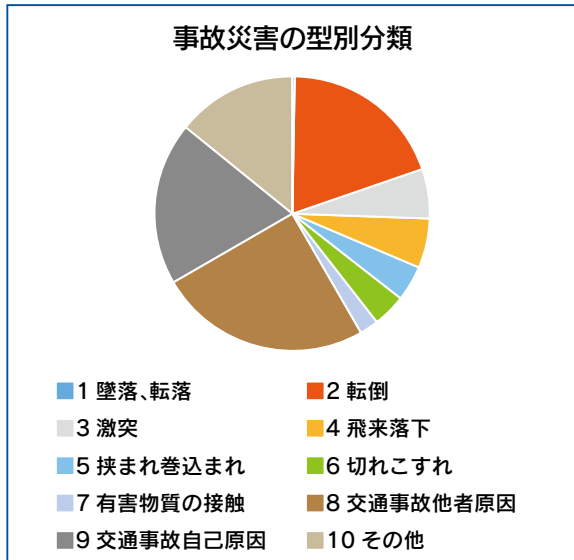
安否確認訓練

震度5強以上の地震が発生した場合の社員全員の安否確認について新たなBCPの中でL I NETWORKSの安否確認システムを適用することとし、9月1日の防災の日に初回の安否確認訓練(テスト)を実施しました。

従来、メール・TEL連絡網を使用していましたがグループ全員が各々の情報を見ることができるといざという時に役に立つと期待しています。
今後も定期的に訓練を継続し万一の事態に備えてまいります。

ヒヤリハット抽出と対策活動

ヒヤリハットの抽出と対策を実施し顕在化する事故災害をゼロにすべく活動しています。
 2020年度グループ合計で1,465件のヒヤリハットを抽出し、分析と対策を実施しました。
 内容は表のとおりです。



レベル	リスク抽出	リスク低減後
A 許容できる	127	255
B 多少問題あり	216	168
C 重大な問題あり	94	18
D 許容できない	22	0

グループ合計で459件のリスクを抽出、リスク低減措置を実施し、各々上の表の通りとなりました

作業名	危険源、リスク	目的	現状	リスクの発生	リスクの低減対策	低減後
作業名	危険源、リスク	目的	現状	リスクの発生	リスクの低減対策	低減後
作業名	危険源、リスク	目的	現状	リスクの発生	リスクの低減対策	低減後

先取り安全としてリスクアセスメントを実施しています。
 RA講習修了者並びに管理者が中心となって
 全作業の洗い出しリスク低減を実施しています。
 定常作業・非定常作業・緊急作業・その他
 作業に区分し、頻度・可能性・重大性を評価
 しました。

リスクアセスメント活動

ISO安全・環境サーベイランス審査統合

環境と統合サーベイランス審査

7月28日(木)～30日(金)環境ISOと統合し、労働安全としては1年目のサーベイランス審査を受審しました。改善の余地4件の指摘を受けました。が認証継続維持されました。

改善の余地

- ① 社内関係者への周知の効果を高める意味で、「安全衛生組織図」において安全衛生推進者を明確にする事を推奨
- ② 将来、遵法対応者等の変更も考えられ、リスクを避ける観点から、点検に関する情報を法令集に掲載、又は一覧表を作成等の工夫を推奨
- ③ 「リスク及び機会の検討表」、労働安全衛生目標検討表」の運用と、マニュアルのプロセスとの整合を確認、マニュアル記載のプロセスの充実を図る改善の余地
- ④ リスクの評価と管理策の決定は計画通りに進んでいますが、管理策実現や残存リスクの低減の取り組みも計画的に進める改善の余地

緊急事態訓練

万一の事故災害を想定して緊急事態対応訓練を1回/年実施しています。



中国特殊 軽油漏洩



吉本興業 消火訓練



リライフ 薬品漏洩

JBK(事故撲滅研修)&なぜなぜ分析

中特グループ独自に現業部門でJBK(事故撲滅研修)を実施しています。文字通り事故を撲滅するために何をすべきか検討し実施しています。

吉本興業JBK



事故発生(軽微含む)、ヒヤリハットの原因をなぜなぜ分析し、1次原因から3次原因まで掘り下げ対策を実施しています。

なぜ?
なぜ?
なぜ?

相互安全パトロール

現業部門に対し1回/月安全パトロールを実施中です。他職場の異なった視点で見えて問題点、改善すべき点を探します。



相互パトロール (オタリシヨ) 気づき事項		実施日
実施日	2021年6月28日(木) 13:00~15:00	2021.6.28
実施者	吉本興業、山形建設、東海建設、山形建設、山形建設、山形建設、山形建設	
対象	高層ビル工事現場、委託マンホールポンプ清掃作業	
気づき、コメント		
1. 落下防止対策要領別マンホールふたに脚をかける等落下の可能性あり。トランプ設置による落下防止を認めるなど改善ないかな?		
2. ベルトのマーク目印のマークから正しい位置へマーク変更		新しいマークのマークへの変更
3. 継ぎ目付近で立ち上り突進		0000!

健康増進活動

禁煙達成費用補助制度

喫煙社員へ禁煙を奨励し健康増進を図り、非喫煙者の受動喫煙を減らすために禁煙達成費用補助制度を始めました。

禁煙チャレンジを申請し、禁煙プログラムに取組み禁煙を達成する『卒煙宣言』をしたら2万円を補助する制度です。

既に3名が卒煙しました。
喫煙者比率は34.8%でしたが来年には20%以下を目指しています。



歯の健康アカデミー開催

12月9日(木)の中特アカデミー特別授業「歯の健康アカデミー」(総務管理部主催)として下松みずほ歯科クリニック 院長の中山敦之先生にご講演いただきました。

「一生懸命歯磨きしなさい」とお話しされるのかと思っていましたが口腔環境を良好にし、歯を健康に保つには「だからだとゆるく継続する事がポイント」だそうです。

また、歯には間食で甘い物を食べるのが一番悪く、習慣を見直すのも大切です。



ストレスチェックの実施

50人以下の中小企業では努力義務となつているストレスチェックですが、中特グループでは7月に実施いたしました。

アンケートを取り、ストレス程度の評価を実施、一人ひとりにアドバイスをフィードバックし、産業医の面接指導も受け付けました。



産業医職場巡視

今年2月より新たに産業医として山本先生をお迎えしており、月1回職場巡視をしていただきます。事務所内では照度・換気など、現場では、作業環境・粉じんなど専門家の視点で指摘いただきます。

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス対策については、感染が始まった当初から情報収集と行政の方針指導に従うと共に、BCUを見直し、都度感染防止対策を修正し対応してきました。

社員のワクチン接種については2021年9月末で2回接種済み60%、接種進行中又は計画中30%となつております。

今後もウィズコロナ対応が必要かと思えます。

公衆衛生関連業務をを担うエッセンシャルワーカーの意識を念頭に持つて行動します。

新型コロナウイルス対策 (一部抜粋)

- ・入室時必ず手洗い又はアルコール消毒
- ・毎朝必ず検温、37度以上は出勤しない家族も同様とする
- ・室内及び車中は窓を開けて換気
- ・緊急事態宣言等の地域との往来は原則禁止やむを得ず往来時は万全の感染防止対策
- ・3密を避ける
- ・屋内作業マスク着用、訪問前に検温
- ・屋外作業2m以上距離あればマスク外し可
- ・バランスの良い食事、良質な睡眠心がけ
- ・各人が責任を持った行動

第3者意見



山口大学 大学院
創成科学研究科 教授
博士（工学）

樋口 隆哉 様

私は、山口大学工学部循環環境工学科で毎年約60名の学生に対して授業を行っています。主に衛生工学や環境法規に関する授業を担当しているのですが、廃棄物処理やリサイクルが実際にどのように行われているのか、社会の仕組みの中でどれだけ重要な役割を果たしているのかを学生に伝えることに苦勞してきました。

そのような中で、一般社団法人山口県産業廃棄物協会とともに学生（学部3年生）を対象として合同研修会を実施する機会をいただき、2014年度から現在まで継続しています。合同研修会では、講演会、グループ討論、施設見学会などを行ってきましたが、株式会社リライフの皆様にも講演会講師やグループ討論助言者としてお世話になり、施設見学もさせていただきました。

上記の合同研修会の他にも、これまで工場を訪問したり社員の皆様とお話をしたりする機会がありましたが、その中で強く感じたのは、それぞれの社員の方が自分のなすべきことに向かって前向きに取り組んでいる姿勢です。これは文字で表せば簡単ですが、学生に伝えようとしても授業で伝わるものではなく、グループ討論や施設見学で直接言葉を交わしたり現場の雰囲気を感じたりすることで感じられるものだと思います。

そのような社員の方々の姿勢を醸成する基盤がCSR報告書の内容にも貫かれているように思います。明快で本質を表した企業理念とスローガンに続き、フットワーク軽く前向きに変わり続けていく様子が社員の方々の顔とともに読者に伝わってきます。おそらく、CSR報告書には書ききれないところで、それぞれの社員の方が会社の目指す方向を理解して、それに向かって何をすべきかを考えられるような仕掛けがたくさんあるのではないかと想像しています。

また、NEXT 17 Targetsとマテリアルバランスは活動を数値で「見える化」という点で重要だと思います。NEXT 17 Targetsは必要に応じて課題設定の見直しもされており、SDGsとの対応関係も一目でわかるように工夫されています。欲を言えば、目標と実績の具体的な値を例えばホームページ上の資料として一覧で見ることができれば、アーカイブとしての意義もより深まるのではないかと思います。マテリアルバランスはINPUTとOUTPUTを細かく示しており、廃棄物や有用資源の流れ、エネルギーの使用状況が分かる図になっています。ただ、INPUTとOUTPUTの項目間のつながりやリサイクル率をどのようにして求めたのかについては、この図だけからは読み取れません。正確に表そうとすればとても複雑になってしまうと思いますが、簡潔に公開できる範囲で別途資料として掲載することも考えられるかと思います。

数値を示すことは重要ですが、一方で数値が独り歩きしてしまうという懸念もあります。ただ、CSR報告書には、グローバルからローカルなレベルまで、また社内・社外を問わず様々な活動の紹介や関係者の意見などが掲載されており、上記の懸念を払拭して全体としてとてもバランスのとれた構成になっています。その根本にあるのは、やはり社員一人一人の皆様の顔だと思います。今後も存在感のあるCSR報告書、そして前向きに変わり続ける中特グループに期待しています。

第3者意見を受けて

ご多忙中にも拘わりませずご意見いただきましてありがとうございます。弊社グループは企業理念に沿って中特アカデミー等の研修はじめ、諸々の機会です社員へのCSR/CSVの浸透を図っておりますがまだまだ道半ばと思っております。NEXT17Targets, マテリアルバランス, リサイクル率等の情報については、ご指摘を細かに検討し改善を図ってまいりますので今後ともよろしく願いたします。

CSR推進室 遠藤 清治

公正な事業と組織運営のために

経営執行組織図

SS会議 役員会議

ワクワク会議 部長会議

チャレンジ会議 目標進捗会議

(株)中特ホールディングス

未来創造室

未来開発部

企画広報室

CSR推進室

総務管理部

CS営業部

設立：平成24年4月
 代表者：橋本ふくみ
 資本金：3,000万円 社員：22名
 事業内容：中特グループ各社の経営企画・総務・営業・環境安全に関する業務、食品リサイクル事業

エコライフチーム

コンプライアンス事務局

環境安全衛生委員会

品質管理委員会

改善提案委員会

中国特殊(株)

エコ事業部

- ・SBグループ
- ・アクアグループ
- ・マネジメン
グループ

設立：昭和41年2月
 代表者：吉本英子
 資本金：2,000万円
 売上高：425百万(2020年度)
 社員：23名
 事業内容：
 一般廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物収集運搬業
 下水道維持管理業、建設業
 解体業、浄化槽保守点検業

(株)藤井興業

- ・アメニティチーム
(新南陽担当)

設立：平成5年4月
 代表者：平岡仙吉
 資本金：1,000万円
 売上高：53百万(2020年度)
 社員：4名
 事業内容：
 一般廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物収集運搬業
 貯水槽清掃業、浄化槽保守点検業

(株)吉本興業

環境事業部

- ・スマイルグループ
- ・マネジメン
グループ

設立：昭和42年7月
 代表者：吉本妙子
 資本金：1,000万円
 売上高：243百万(2020年度)
 社員：24名
 事業内容：
 一般廃棄物収集運搬業

(株)ポータルハートサービス

設立：平成30年8月
 代表者：篠田直美
 資本金：1,000万円
 売上高：77百万(2020年度)
 社員：8名
 事業内容：
 各種片付け事業
 遺品整理事業
 生活関連のお困りごとの解決

(株)リライフ

リサイクル事業部

- ・リサイクルグループ
- ・再資源化グループ
- ・マネジメン
グループ
- ・品質管理室

設立：平成元年2月
 代表者：橋本ふくみ
 資本金：9,500万円
 売上高：680百万(2020年度)
 社員：23名
 事業内容：
 産業廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物処分業、リサイクル事業



まちと未来をキレイにする仕事。

Chutoku Group

株式会社 中特ホールディングス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078-1
TEL:0834-25-0606(代表) FAX:0834-25-0607
[東京営業所]
TEL:03-5926-4030 FAX:03-5926-4040

中国特殊株式会社

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078-1
TEL:0834-26-0500 FAX:0834-25-2856

株式会社 吉本興業

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3044-2
TEL:0834-25-0423 FAX:0834-25-2939

株式会社 リライフ

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078-1
TEL:0834-33-8685 FAX:0834-25-2856
[下松リサイクル工場]
〒744-0002 山口県下松市東海岸通り18-1
TEL:0833-44-0007 FAX:0833-44-1007

株式会社 藤井興業

〒746-0017 山口県周南市宮の前2-2-12
TEL:0834-63-1294 FAX:0834-25-2856

株式会社 ポータルハートサービス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078-1
TEL:0834-33-8100 FAX:0834-25-2939
[宇部営業所]
〒755-0045 山口県宇部市中央町2丁目5番地5
TSUNAGARU SPACE EN-biz